

## 研究講習事業報告

学発番号: 学21-023★(日臨技推進事業)  
事業名: 令和3年度 京臨技病理検査講演会(第6回みやこ病理検査講演会)  
日時: 令和3年12月12日(日) 13:00~16:30  
場所: Web開催  
主題1: 病理検査技師のための腹部エコーの基礎  
講師1: 有馬 隆幸 技師(大阪府済生会野江病院)  
主題2: 病理検査技師のためのCT・MRの基礎  
講師2: 澤 悟史 技師(京都第一赤十字病院 放射線診断科部)  
主題3: 病理検査室の取り組み  
講師3: 藪田 都 技師(京都第一赤十字病院)  
主題4: FoundationOne Liquid CDx がんゲノムプロファイル  
講師4: 鹿島 隼 氏(中外製薬株式会社)  
主題5: オンコタイプ DX 乳がん再発スコア プログラム  
講師5: 津田 剛 氏(エグザクトサイエンス株式会社)  
参加数: 総数:90名(京臨技会員:39名)  
報告者: 久保 喜則(京都第一赤十字病院)

### 以下、講演内容など

先着70名の募集を拡大し、事前申し込みは98名で、計90名の参加がありました。有馬先生の腹部エコーと澤先生のCT・MRにおける画像検査装置の原理と、画像の見方の基礎を実際の症例を交えて詳しく解説いただきました。藪田先生は、所属されているの病理検査室の検査部内で実践されているタスクシェアと、医師とのタスクシェアの課題についてご講演いただきました。病理検査技師が関わりの強い遺伝子検査関連について、鹿島先生には、国内初の保健適用となった血液検体を用いた固形がんに対する癌遺伝子パネル検査について、津田先生には、乳がん治療の予後予測と治療効果予測が測れるオンコタイプDX乳がん再発スコアプログラムについてご講演いただきました。どの講演も参加者にとって得るものが多く、今後の業務の一助になりました。